

地方独立行政法人京都市産業技術研究所の運営の概要について

京都市産業技術研究所は、伝統産業から先進産業まで、地域産業を技術面から支援する公的な産業支援機関です。大正５年（１９１６年）設立の京都市染織試験場及び大正９年（１９２０年）設立の京都市工業研究所（後に京都市工業試験場に改称）を源流とし、平成１５年に京都市染織試験場と京都市工業試験場を統合し、開設されました。その後、複雑化、高度化する中小企業のニーズにこれまで以上に迅速かつ的確に対応していくため、平成２６年に地方独立行政法人京都市産業技術研究所（以下「産技研」という。）へと移行され、京都市長が任命する理事長の下で運営されています。

※地方独立行政法人とは、地方独立行政法人法に基づき、地域において必要な事務・事業で、民間にゆだねた場合には必ずしも実施されないおそれがあるものを、効率的かつ効果的に行わせる目的で市が設立する法人です。

１ 産技研の主な実績（令和６年度実績）

指標	実績値
新規利用者数	６８１件
無料の技術相談件数	１１，２２７件
有料の技術相談、試験・分析、設備利用の件数	１７，８９４件
研修、セミナー等の受講者数	３８９人
共同研究の件数	２８件
学会や講演会等の発表、研究論文等の執筆の件数	１５７件

２ 運営に関する収入・支出（令和６年度決算）

収入総額は約１２億円で、京都市からの運営費交付金が約７割、共同研究等の受託研究の収入や事業収入等の自己収入が２割強を占めています。

